

## 2021 G310 トロフィー ブリーフィング資料

## 【1】 走行時の注意について

- 1) 走行時は必ずヘルメット・リムカバーシステム・脊椎パッド・チェストガードを着用してください。
- 2) **22歳以下**のライダーはエアバックの着用を義務付けです。
- 3) スロー走行を余儀なくされた場合は必ずコース右端を走行し、この際に各コーナーでレコードラインと接近する場所を走行するときは、お互いに注意して追突等がないように走行してください。
- 4) ピットレーンは**60km/h以下**で走行してください。
- 5) 予選時間は25分間です。**フリー走行10分後にメインフラッグ台にてグリーンフラッグが振られて、予選計測開始です。**
- 6) **予選走行時も必ず腕章を右腕に着けて走行してください。登録ライダーの1人でも2人でも計測できます。**
- 7) 整備不良または転倒等によるパーツの落下やオイル漏れが原因で、他車の転倒等の要因を作ったと認められた場合は、ペナルティーの対象となる場合があります。

## 【2】 腕章の付け替えについて

- 1) 決勝スタート時に走行するライダーは、予め**赤色の腕章を着けてウォームアップラップを走行してください。**
- 2) 2名登録しているチームは2番目に走るライダーが黄色の腕章を着けて走行してください。  
1名登録のチームは決勝中レースにピットレーンにて、黄色の腕章に付け替えてください。
- 3) 安全のため、ライダー交替、または、腕章を付け替える際には、**必ずエンジンを停止させてください。**  
**ライダー交代の際のピット滞在時間は、全ライダー2分間です。**

## 【3】 フラッグ・シグナルの運用について

- 1) チェッカーフラッグはメインポスト内から提示されます。  
※補助の目的で、メインポスト下のピットウォールからも提示されます。
- 2) コースインシグナルには、レッド点灯・グリーン点灯・ブルード点滅の3種類があります。
- 3) チェッカー旗提示後の黄色旗運用について  
**走行終了時にチェッカー旗提示後、コントロールラインを最初に通過したライダーに合わせて、各ポストで黄旗の1本静止が提示される。**  
チェッカー後の黄旗提示目的は、プラクティスセッション（公式予選等）、決勝の終了時にチェッカー旗の見落とし、ダブルチェッカー防止のため、チェッカーを受けたライダー（トップから）に対して各ポストでサービスフラッグとして「黄旗の静止提示」を行う。ただし、予選終了直後の複数台による団子状態の場合は、黄旗の静止提示は状況を見て運用を行う。

## 【4】 決勝スタート進行について

- 1) スタート前チェック後は、各自PIT前で待機となります。（ピットガレージの中には入れないでください）
- 2) 決勝のスタート方式は、ル・マン式となります。  
もて耐クラス・NEO STANDARDクラスは1グループ目、チャレンジクラスは2グループ目のグループ分けです。  
※ 天候によってはスタート方法が変更になる場合がございます。
- 3) ウォームアップラップの開始もル・マン式ですので、決勝のスタートと間違えないように注意してください。  
ウォームアップラップ終了後、スタートライダーは速やかにコース反対側のスタート位置についてください。
- 4) グリッドについての車両はエンジンを1度止めて頂いても結構です。ただし、3分前にはエンジンをスタートして下さい。1分前にエンジンの掛からない車両はピットレーンに移動する場合があります。
- 5) ウォームアップラップ後にピットインした車両はピットスタートとなります。

## 【5】 決勝スタート時の注意

- 1) スタート時のカウントダウンに合わせてアナウンサーのコールが行われますが、正式なスタート合図は、各グループの**日章旗となります。**
- 2) スタート時に各グループの日章旗を持ったオフィシャルを見て下さい。
- 3) **スタート時サインマンエリア（プラットホーム）は立入禁止です。**全車スタートしてマーシャルカーがホームストレートを通過した後、使用可能になります。
- 4) JumpStartのペナルティーは、ライドスルーペナルティーとします。  
ライドスルーペナルティーについては、『RIDE THROUGH』の文字の下にゼッケン番号を記した一体型の黄色のボードがフラッグタワーと8番ポストから提示されます。  
当該ライダーは、ピットレーンに入り速度制限を遵守し、途中で停止する事なくコースインすること。

以上